

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2016年7月3日（日）9：30～12：40（3時間10分）

■会場

豊岡市役所 5階1会議室

■参加者

34名（子ども13名、子ども会育成者11名、市役所職員3名、青年リーダー7名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：30	あいさつ 豊岡市子ども会連絡協議会会長 山本邦彦
9：35	オリエンテーション
9：45	お話し「23号台風の水害と豊岡地域」
10：10	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレーキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：40	あいさつ 豊岡市子ども会連絡協議会副会長

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 豊岡市生涯学習課 橋本忠明
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 7名

■会場の様子



語り部



まちあるき



まとめ



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・今日みたいな体験をもっとする
- ・避難生活ができる準備をしておく
- ・家族で逃げる場所、逃げる道を話しておく
- ・住んでいる場所をもっとよく知る
- ・ひと事、よそ事と思わない
- ・災害が起こるということを忘れないようにする
- ・世界を平和にしたい